

稲毛区支え合いのまち推進計画の推進状況(平成30年度～令和2年度)

主な成果	主に高齢者を対象とした多世代交流や健康増進などについて、地区での活動が増えていった。また、気軽に集える場づくりとして地域交流カフェの活動も始まった。
今後の課題	ほとんどの地区に共通する課題として、活動に携わる人材の発掘と育成が急務となってきている。また、コロナ感染症の状況下において安全を確保しつつ交流と介護予防を図る方法を考える必要がある。

令和3年度の取組の方向性	コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、感染予防を第一にしたうえで活動を再開・拡大してゆく。特にR2年度に各種イベントや事業が開催できなかったことを踏まえ、感染予防に注意を払いつつ交流を図り、子育て世代や高齢者の健康面に留意して取り組んでゆく。
--------------	---

◆取組みテーマ別達成状況

【達成状況の目安】 S:目標を上回った。 B:一部目標を達成した。(5～7割) A:概ね目標を達成した。(8～10割) C:大きく目標を下回った。(～4割)

取組みテーマ	重点取組項目数	達成状況	主な取組み実績	
1 見守りの仕組みづくり	8	S	1	区内10の自治会で住民主体の見守り活動が継続実施され、1自治会と1地区部会範囲内で生活上のちょっとしたお手伝い(ごみ出しなど)支援の活動を行っている。また、民生委員児童委員によるあんしんカード配布や、地域内施設の協力による買い物支援サービス(3か所)も行われている。
		A	7	
		B		
		C		
2 高齢者を支える仕組みづくり	4	S	2	区内12の地区部会で計93か所のいきいきサロンが開催され、地域内での交流や介護予防に取り組んでいる。また、10自治会での見守り活動や2か所の支え合い活動、3か所の買い物支援が行われている。
		A	2	
		B		
		C		
3 障害者を支える仕組みづくり	3	S	2	区内の1地区部会で例年継続的に障害児者団体との交流会を行っている。また、2地区部会の災害時避難所開設訓練において、障害を持つ住民の避難について計画上に盛り込むなどしている。
		A	1	
		B		
		C		
4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり	3	S	2	区内12の地区部会で計17か所の子育てサロンが開催され、子育て中の親同士の交流などに取り組んでいる。また、区内の子育て関連情報を編集・広報を行ったり各種講座を行う団体も活動している。
		A	1	
		B		
		C		
5 健康づくり	7	S	2	区内12の地区部会で計93か所のいきいきサロンが開催されている他、13会場で散歩クラブを開催。また、ポッチャやラジオ体操、町内運動会などを活用した健康づくりの場の開催や健康づくり講座なども行われた。
		A	4	
		B	1	
		C		
6 防犯・防災に対する取組み	8	S	2	区内84の自治会及び自主防災組織で防災訓練や避難所開設訓練が実施されたほか、千葉市との間で避難行動要支援者名簿の取り扱いに関する協定を結ぶなど防災への取り組みを行った。また、自治会ごとの防犯パトロール活動などに取り組んだほか、校区内の危険箇所をマップとして作成・配布するなどの活動も行われた。
		A	6	
		B		
		C		
7 担い手の拡大とボランティアの促進	9	S	1	区内各所での見守り声かけ活動やいきいきサロン活動などを通じて、地域福祉の担い手を募ったほか、区内で15のボランティア講座を開催(R1年度)し、ボランティア活動の啓発と育成を行った。
		A	8	
		B		
		C		
8 福祉教育・啓発	2	S	1	区内で15のボランティア講座を開催(R1年度)し、ボランティア活動の啓発と育成を行ったほか、地域のイベントなどで小中学校と協力し児童生徒のボランティア活動参加を推進した。
		A	1	
		B	1	
		C		
9 地域のつながりづくり	24	S	2	区内93か所のいきいきサロン活動や17か所の子育てサロンで高齢者や子育て世代のつながりを作っているほか、小中学校登下校時の声かけ挨拶運動や、地域の運動会や祭を通じて住民同士の交流を図っている。
		A	22	
		B		
		C		
10 相談支援体制と情報提供の充実	11	S	1	地区の広報誌発行(R1年度は12地区で16回発行)などで住民への情報提供を行ったほか、地域のイベントやサロン活動などを通じて日常の相談などのしやすい体制を整えた。また、小学校とPTAなどと協力し校区内危険箇所マップを作成・配布する活動も見られた。
		A	10	
		B		
		C		
合計	79	S	15	
		A	62	
		B	2	
		C	0	

◆コロナ禍における好事例等

<p>小中台西地区部会エリアの自治会活動において、会合をオンライン(zoomによるビデオ会議)で行い、感染予防をしつつ顔の見えるコミュニケーションをとる方法を導入した。また、この方法を見守り活動の報告会や地区民生委員児童委員協議会の会議にも応用すべく検討している。</p>
--

稲毛区支え合いのまち推進計画の 推進状況(平成30年度～令和2年度)

【取組みテーマ】1見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
10 相談支援体制と情報提供の充実

【達成状況の目安】

S:目標を上回った。
A:概ね目標を達成した。(8～10割)
B:一部目標を達成した。(5～7割)
C:大きく目標を下回った。(～4割)

地区部会エリア	重点取組項目	取組みテーマ	第4期(平成30年度～令和2年度)の目標	第4期(平成30年度～令和2年度)の実績	達成状況	第4期の総括・今後の課題	令和3年度の取組の方向性	
小中台東地区部会エリア	① あいさつから始まる地域との関わり ④ 地域住民の参加による見守り・支え合い ⑥ 地域での福祉教育の普及・啓発 ⑧ 健康づくりや介護予防の普及・啓発 ⑨ 地域の情報の収集・発信	9	町内自治会や学校、青少年育成委員会、セーフティウォッチャーなどが連携・協力し、登下校時に通学路などで子どもたちへ挨拶をするとともに、防犯パトロールの際などに、住民同士のあいさつが浸透するよう努めます。また、地域内小学校に依頼してあいさつ標語の作品募集を行い、結果を東西社協まつりや広報紙、掲示板などを活用して広めます。	近隣校(小中台小、小中台南小、園生小、柏台小)の協力を得て、あいさつをテーマにした標語作品を募集し、小中台西地区部会と共同開催する「東西社協まつり」で優秀作品の発表並びに表彰を行い、あいさつ運動に取り組みました。また、各小学校で民生委員と青少年育成委員会が連携・協力して登下校時のあいさつ運動に取り組みました。	A	各重点取組項目ごとに活動の継続と拡充を行い、計画に沿って推進していたが、コロナウイルス感染症拡大に伴い途中で活動を大幅縮小せざるを得ず、特に高齢者の健康面で不安を訴える声が聞かれた。また、活動を継続してゆくための人材発掘や育成が思うように進んでいないことが問題点として挙げられるとともに、地域での講座開催についても参加する住民を増やす手立てを講じる必要がある。	コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、感染予防を第一にしたうえで活動を再開・拡大してゆく。特に昨年度に関りを持つことが困難だった高齢者の健康面に留意して取り組む。また、活動に利用する施設との再開に向けての調整について検討する。	
【人口・世帯数】 28,966人、10,506世帯			1	地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力して、独居高齢者や高齢者世帯等に対し、日常的な声かけやあんしんカードの配布等を行う他、いきいきサロン参加の呼び掛けなどの機会を活用した見守り活動に取り組みます。	地区部会が独居高齢者や高齢者世帯などに対して、日常的な声かけや携帯用のあんしんカードを配布するとともに、町内自治会が独自に作成したあんしんカードを配布するなど、継続的に見守り活動に取り組みました。			A
【町内自治会数】 33町内自治会			7	地区部会が町内自治会や学校、各種活動団体と連携・協力し、福祉講座を企画するなど、ボランティア活動の普及・啓発に努めます。また、サマーフェスタなどイベントの機会には近隣の小・中学校にボランティア募集を行い、ボランティア活動の実践を通じた福祉教育に取り組みます。	年度ごとにテーマを設定した地区部会主催による講座を開催することで、住民に対して地域ボランティア活動の普及・啓発に取り組みました。また、サマーフェスタ開催時に、近隣の中学校(小中台中・朝日ヶ丘中)からボランティアとして生徒が参加し、活動を通じて福祉教育の啓発に取り組みました。			B
【高齢化率】 27.4%			5	地域住民を対象とした福祉講座の中で認知症に関する講座を開催する他、いきいきサロンにおいて健康づくりや介護予防についての啓発を行います。また、開催地区部会や町内自治会、民児協、スポーツ振興会がイベント等を実施し、気軽に参加できる健康づくりや運動の機会を増やします。	地区部会があんしんケアセンターや区健康課等と連携・協力し、高齢者に対していきいきサロン(12か所※第3期より2か所増)を実施し健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みました。			S
【地域の特徴】 地区の方が「本村」と呼ぶ園生町(一部)をはじめ、小中台町、宮野木町(一部)は、昔は山と田畑が広がっていた。昭和50年代頃に宅地開発が進み、現在は村時代からの古い住民と、戸建て、マンション等に住む新しい住民が交わっている。エリア内に小中学校が存在していない。			10	地区部会や町内自治会等が、地域の活動に関する情報を相互に共有するとともに、広報紙等で情報発信に取り組みます。	地区部会や町内自治会が相互に会議等へ参加し、地域活動の情報の共有に努めるとともに、地区部会が広報紙で地域住民に対して地域活動の情報発信に取り組みました。また、地区部会が町内自治会と連携協力し、高齢者等が気軽に集える居場所づくりをテーマに情報交換会を開催するなど、情報収集などに取り組みました			A

稲毛区支え合いのまち推進計画の 推進状況(平成30年度～令和2年度)

【取組みテーマ】1見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
10 相談支援体制と情報提供の充実

【達成状況の目安】

S:目標を上回った。
A:概ね目標を達成した。(8～10割)
B:一部目標を達成した。(5～7割)
C:大きく目標を下回った。(～4割)

地区部会エリア	重点取組項目	取組み テーマ	第4期(平成30年度～令和2年度)の目標	第4期(平成30年度～令和2年度)の実績	達成 状況	第4期の総括 ・今後の課題	令和3年度の 取組の方向性
山王地区部会エリア 【人口・世帯数】 17,421人、8,297世帯 【町内自治会数】 11町内自治会 【高齢化率】 28.8% 【地域の特徴】 古くは戦時中、その広大な原野は軍の演習地として活用され、終戦後に開墾が始まり、人々が転入して成った地域である。エリアには内陸工業地帯が開発され、主に戸建てが立ち並ぶ。稲毛区の北部に位置し、四街道市が隣接している。	① あいさつから始まる地域との関わり	9	セーフティウォッチャー、学校と更なる連携を進め、あいさつ運動を更に推進するため、青少年育成委員会や町内自治会、地区部会などとの協力体制づくりを進めます。	地区部会が小学校のセーフティウォッチャーと連携し、登校時にあいさつ運動を継続実施している他、6年生を送る会開催時に安全講習会を行い、あいさつ運動について情報共有し、町内自治会に協力要請を行いました。	A	各重点取組項目ごとに活動の継続と拡充を行い、計画に沿って推進していたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い途中で活動を大幅縮小せざるを得ず、特に高齢者の健康面で不安を訴える声が聞かれた。 また、活動を継続してゆくための人材発掘や育成が思うように進んでいないことが問題点として挙げられる。	コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、感染予防を第一にしたうえで活動を再開・拡大してゆく。特に昨年度に関わりを持つことが困難だった高齢者の健康面に留意して取り組む。 また、高齢者の生活支援(買い物支援)で協働している施設との連携をとり、今後の進め方について検討する。
	② 地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	9	地区部会や町内自治会、地域の各種活動団体等が連携・協力し、夏まつりやお楽しみ会など幅広い世代が参加交流できる場づくりに取り組みとともに、各イベントにおいて子育てサロンへの参加を促し、子育て世代との地域交流を進めます。	地区部会が町内自治会や地域の関係団体と連携・協力して、いきいきサロン(6会場※第3期より1会場増)、夏祭りや敬老会、地域の合同運動会などのイベントを実施し、多くの地域住民の参加・交流の場づくりに取り組みました。	A		
	③ 地域で活動している人組織同士の連携・協力	9 10	地区部会や町内自治会、民児協、学校、公民館などがイベントや地域活動の際に情報共有を行い、相互の連携・協力体制づくりに努めます。特に、あいさつ運動を中心に青少年育成委員会とも連携して通学の安全を図っていきます。	地区部会や町内自治会、民児協、学校、公民館などが連携・協力し、各種会議や情報交換会を通じて情報を共有するとともに、地域イベントや防災講座、あいさつ運動など相互に連携・協力して活動の場づくりに取り組みました。	A		
	④ 地域住民の参加による見守り・支え合い	1 7	地区部会が町内自治会や民児協、社会福祉施設などと連携・協力し、防犯パトロールを活用した見守り活動や、買い物が困難なひとり暮らし高齢者を対象とした買い物支援サービス「ドライブサロン」などの実施に取り組むなど、外出困難な高齢者を対象に、より丁寧な対応を進めます。	3町内自治会(山王町中央自治会、山王町南自治会、長沼原台自治会)が一人暮らし高齢者等に対して安否確認等による見守り活動に取り組みました。 また、地区部会が民児協や福祉施設と連携・協力して、買い物が困難な一人暮らし高齢者等に対し、昨年度より買い物支援事業「ドライブサロン」を開始するなど、地域住民主体の活動に取り組みました。	A		
	⑪ いざというときに必要な情報把握や防災講座等の開催	6	地区部会が公民館と連携・協力して防災講座を継続実施すると共に、町内自治会(自主防災組織)が防災訓練や避難所開設訓練などを行う中、より多くの地域住民に参加をしてもらえるよう日程調整をするなどし、防災に関する意識向上に取り組めます。	地区部会が公民館と共催で地域での防災講座を企画するとともに、自主防災組織での防災・避難訓練を実施した。 また、町内自治会が避難行動要支援者名簿の情報提供について千葉市と協定を締結し、災害時に備え、必要な情報把握に取り組みました。	A		

稲毛区支え合いのまち推進計画の 推進状況(平成30年度～令和2年度)

【取組みテーマ】1見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
10 相談支援体制と情報提供の充実

【達成状況の目安】

S:目標を上回った。
A:概ね目標を達成した。(8～10割)
B:一部目標を達成した。(5～7割)
C:大きく目標を下回った。(～4割)

地区部会エリア	重点取組項目	取組みテーマ	第4期(平成30年度～令和2年度)の目標	第4期(平成30年度～令和2年度)の実績	達成状況	第4期の総括・今後の課題	令和3年度の取組の方向性
轟・穴川地区部会エリア	③ 地域で活動している人・組織同士の連携・協力	9 10	地区部会や町内自治会、老人クラブなど各種活動団体が、地域のイベントなどを実施する際、相互に連携・協力し、地域活動に取り組みます。	地区部会が、民児協などと連携・協力して地域内4カ所で敬老会を実施した他、スポーツ振興会と市民体育祭を開催し、地域内福祉施設からの協力も得るなど地域での活動に取り組みました。	A	各重点取組項目ごとに活動の継続と拡充を行い、計画に沿って推進していたが、コロナウイルス感染症拡大に伴い途中で活動を大幅縮小せざるを得ず、特に高齢者の健康面で不安を訴える声が聞かれた。また、活動を継続してゆくための人材発掘や育成が思うように進んでいないことが問題点として挙げられる。	新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、感染予防を第一にしたうえで活動を再開・拡大してゆく。特に昨年度に関わりを持つことが困難だった高齢者の健康面に留意して取り組む。
【人口・世帯数】 11,208人、5,438世帯							
【町内自治会数】 23町内自治会							
【高齢化率】 24.5%	⑧ 健康づくりや介護予防の普及・啓発	2	地区部会が町内自治会やあんしんケアセンター等と連携・協力し、高齢者に対していきいきサロンを実施するなど、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組みます。	地区部会が健康課などと協力し地域の高齢者を対象としたいきいきサロン(10か所)において健康体操や健康相談などを実施している。また、町内自治会が「ジョギング大会」を企画実施し、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組みました。	A	加えて、活動のため必要な会場(施設)確保も課題として挙げられる。	
【地域の特徴】 戦時中、稲毛区役所、稲毛保健福祉センター等の敷地は戦車学校が建つ軍用地であった。その後に開発が進み、エリアには戸建て住宅、市営・県営住宅、マンション等が立ち並ぶ。文教のまちの呼称でも親しまれ、公共機関(教育施設、行政施設等)を内包する。							
	⑪ いざというときに必要な情報把握や防災講座等の開催	6	町内自治会が、千葉市と連携し、平常時から災害時要支援者の把握をするなど、災害時に迅速な支援ができるよう支援体制づくりに努めます。	7町内自治会・自主防災組織(第3期より5自治会増)や民児協が連携し防災・避難訓練などを実施するとともに、4町内自治会(第3期より2自治会増)が継続して千葉市と災害時の避難行動要支援者名簿の協定を更新するなど、災害時に備えた支援に取り組んでいる。	S		

稲毛区支え合いのまち推進計画の 推進状況(平成30年度～令和2年度)

【取組みテーマ】1見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
10 相談支援体制と情報提供の充実

【達成状況の目安】

S:目標を上回った。
A:概ね目標を達成した。(8～10割)
B:一部目標を達成した。(5～7割)
C:大きく目標を下回った。(～4割)

地区部会エリア	重点取組項目	取組み テーマ	第4期(平成30年度～令和2年度)の目標	第4期(平成30年度～令和2年度)の実績	達成 状況	第4期の総括 ・今後の課題	令和3年度の 取組の方向性
稲毛地区部会エリア	② 地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流 ③ 地域で活動している人・組織同士の連携・協力 ④ 地域住民の参加による見守り・支え合い ⑦ 公共施設や空き店舗などを活用した身近な居場所づくり ⑧ 健康づくりや介護予防の普及・啓発	9 9 10 1 7 2 3 4 9 5	地区部会や町内自治会、スポーツ振興会など各種活動団体や学校、幼稚園、保育園などが連携・協力して敬老会やふれあい広場などを企画実施し、幅広い世代が交流できる場づくりに取り組みます。	地区部会が町内自治会、各種活動団体及び近隣の小・中学校と連携・協力して敬老会(9/16 623名参加)の開催や、中学校の生徒を対象に子育て中の親子との交流を図るふれあい広場(9/18)を開催するほか、地域の祭(夜灯し)準備に高齢者や大学生、児童とその親が参加するなど、幅広い世代が参加交流できる場づくりに取り組みました。	A	各重点取組項目ごとに活動の継続と拡充を行い、計画に沿って推進していたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い途中で活動を大幅縮小せざるを得ず、特に高齢者の健康面で不安を訴える声が聞かれた。また、活動を継続してゆくための人材発掘や育成が思うように進んでいないことが問題点として挙げられる。	コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、感染予防を第一にしたうえで活動を再開・拡大してゆく。特に昨年度に関りを持つことが困難だった高齢者の健康面に留意して取り組む。
【人口・世帯数】			地区部会や町内自治会、スポーツ振興会、青少年育成委員会などが、地域のイベント(敬老会やふれあい広場など)を実施する際、相互に連携・協力し、地域活動に取り組みます。	地区部会や町内自治会、民児協、スポーツ振興会、青少年育成委員会などが相互に連携・協力し、敬老会などのイベントや会議に取り組みました。	A		
11,801人、5,644世帯			地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力して地域内のニーズを把握することに努め、見守り、支え合い活動の必要性について協議します。	地区部会が民児協や町内自治会と協力し、いきいきサロンや、ふれあい食事サービスを通じて、参加者への声かけによる見守り活動に取り組みました。また、台風により被害を受けた世帯に対し、倒木や瓦礫の撤去など、住民同士の助け合い活動に取り組みました。	A		
【町内自治会数】			地区部会が公民館や社会福祉施設などと連携・協力し、いきいきサロンや子育てサロンを実施し、住民同士が気軽に集える居場所づくりの充実に取り組みます。	地区部会が公民館や福祉施設と連携・協力し、いきいきサロン(4ヶ所)、子育てサロン(1か所)を実施し、住民同士が身近なところで気軽に集える居場所づくりに取り組みました。	A		
16町内自治会			地区部会が区健康課やあんしんケアセンターなどと連携・協力し、いきいきサロンや子育てサロン、散歩クラブを実施し、健康体操や健康相談を行うなど、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組みます。	地区部会が区健康課などと連携・協力して、高齢者に対していきいきサロン(4ヶ所)や、若い世代に対して子育てサロン(1か所)を行うなど、健康体操や健康相談を通じて、健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みました。	A		
【高齢化率】							
22.3%							
【地域の特徴】							
南北に延びる稲毛区の最南に位置し、昭和の埋め立てが始まる前は、浅間神社の下に東京湾が広がり、あさりと海苔のまちとして栄えた。エリア内にはJR線と京成線が走り、また、南部には国道も敷かれており、どこへの移動も大変便利である。							

稲毛区支え合いのまち推進計画の 推進状況(平成30年度～令和2年度)

【取組みテーマ】1見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
4 こどもと子育てを支える仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
10 相談支援体制と情報提供の充実

【達成状況の目安】

S:目標を上回った。
A:概ね目標を達成した。(8～10割)
B:一部目標を達成した。(5～7割)
C:大きく目標を下回った。(～4割)

地区部会エリア	重点取組項目	取組み テーマ	第4期(平成30年度～令和2年度)の目標	第4期(平成30年度～令和2年度)の実績	達成 状況	第4期の総括 ・今後の課題	令和3年度の 取組の方向性
稲丘地区部会エリア 【人口・世帯数】 11,619人、5,292世帯 【町内自治会数】 6町内自治会(+1マンション区*) 【高齢化率】 17.4% 【地域の特徴】 JR稲毛駅前付近は高層大規模な集合住宅が林立し、若い世代が集中して、戸建て住民を牽引する形で地域意識がよい町作りの方向に変容しつつある。集合住宅と戸建住宅が混在する稲毛の台地部で、快速の停車駅JR稲毛駅と、京成稲毛駅はバスの利用なしで行ける。エリアは6つの自治会から成るが、JR稲毛駅至近に建つ1マンション区(*)が小学校区は稲丘小、地区部会は小中台西エリアに属し、双方の地区部会活動に関わっている。	① あいさつから始まる地域との関わり	9	町内自治会や学校、青少年育成委員会、セーフティウォッチャーなどが連携・協力し、登下校時に通学路などで子どもたちへあいさつをするとともに、防犯パトロールの際などに、住民同士のあいさつが浸透するよう努めます。	町内自治会や学校、青少年育成委員会、セーフティウォッチャーなどが連携・協力し、稲丘小の登下校時に児童へのあいさつや、町内自治会が防犯パトロールの際に、住民への声掛けをおこなうなど、あいさつ運動に取り組みました。	A	各重点取組項目ごとに活動の継続と拡充を行い、計画に沿って推進していたが、コロナウイルス感染症拡大に伴い途中で活動を大幅縮小せざるを得ず、特に高齢者の健康面で不安を訴える声が聞かれた。また、活動を継続してゆくための人材発掘や育成が思うように進んでいないことが問題点として挙げられる。	コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、感染予防を第一にしたうえで活動を再開・拡大してゆく。特に昨年度に関りを持つことが困難だった高齢者の健康面に留意して取り組むとともに、複数の事業で関りを持っているエリア内小学校とも協調した検討をしてゆく。
	② 地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	9	地区部会や町内自治会、スポーツ振興会、青少年育成委員会などが連携・協力し、イベント(夏祭りや敬老会、地区運動会、正月行事など)を企画実施し、住民同士が交流できる場づくり取り組みます。	地区部会や町内自治会、スポーツ振興会が連携し、夏祭りや敬老会、町別対抗競技会、餅つき大会などのイベントを企画・実施するなど、多くの地域住民が参加交流できる場づくりに取り組みました。	A		
	③ 地域で活動している人・組織同士の連携・協力	9 10	地区部会や町内自治会、民児協、スポーツ振興会がイベント等を実施する際、相互に連携・協力し、地域の活動に取り組みます。	地区部会や町内自治会、スポーツ振興会、民児協などが相互に連携・協力し、夏祭りや敬老会、町別対抗競技会、餅つき大会など地域活動に取り組みました。	A		
	④ 地域住民の参加による見守り・支え合い	1 7	地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力し、一人暮らし高齢者等に対して、いきいきサロンやふれあい食事サービス、ランドゴルフなどを通じて声かけによる安否確認を行うなど、見守り活動に取り組みます。	地区部会や町内自治会などが連携・協力し、一人暮らし高齢者等に対して、いきいきサロン(5ヶ所※第3期より2会場増)等の機会を通じて声かけや、地域内の要支援者の情報共有を行うなど、住民同士の見守り活動に取り組みました。	S		
	⑤ 福祉活動の中核となれる人材の発掘・育成	7	地区部会や町内自治会、スポーツ振興会などがイベントを実施する際、相互に活動協力者の呼びかけを行うなど、人材の確保に努めます。	地区部会や町内自治会、スポーツ振興会などと連携し、敬老会や夏祭り、地区運動会などのイベントを通じて相互に活動協力者の確保に努めるとともに、町内自治会の広報等を通じて協力者の呼びかけを行うなど、活動協力者の確保に取り組みました。	A		
	⑥ 地域での福祉教育の普及・啓発	8	地区部会が町内自治会や各種活動団体と連携・協力し、地域住民に対して福祉講座を企画するなど、ボランティア活動の普及・啓発に取り組みます。	地区部会が町内自治会や行政と連携し、地域住民に対して防災をテーマにした福祉講座を開催し、ボランティア活動の普及・啓発に取り組みました。	A		
	⑦ 公共施設や空き店舗などを活用した身近な居場所づくり	2 3 4 9	地区部会が町内自治会や民児協等と連携・協力し、町内自治会館において、ふれあい食事サービスやいきいきサロン、子育てサロンを実施するなど、住民同士が集える居場所づくりに取り組みます。	地区部会が、町内自治会と連携・協力し、町内自治会館などにおいて、いきいきサロン(5ヶ所※第3期より2会場増)や子育てサロン(1ヶ所)、ふれあい食事サービス(1ヶ所)を実施し、住民同士が気軽に集える居場所づくりに取り組みました。	S		
	⑧ 健康づくりや介護予防の普及・啓発	5	地区部会が、あんしんケアセンターや区健康課等と連携協力し、高齢者に対していきいきサロンやふれあい食事サービス、子育て世帯に対して子育てサロンを実施するなど、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組みます。	地区部会がスポーツ振興会や町内自治会やあんしんケアセンターと連携・協力し、いきいきサロン(5ヶ所※第3期より2会場増)や子育てサロン、ふれあい食事サービス、自治会における早朝ラジオ体操や、小学校を利用したスポーツクラブ活動などを実施して高齢者や子育て世代に対して健康づくりや介護予防に取り組みました。	A		
	⑨ 地域の情報の収集と発信	10	地区部会が町内自治会、民児協、関係機関等と連携協力して会議等に相互に参加し、情報を共有するとともに、広報紙等により地域の活動の情報発信に取り組みます。	地区部会が町内自治会、民児協、関係機関等と連携協力して会議等に相互に参加し、情報共有を行うとともに、地域住民に対して、地区部会だよりや町内自治会の広報紙などにより、地域活動の情報発信に取り組みました。	A		
	⑩ 身近な地域の相談相手の確保	10	地区部会や町内自治会や民児協などが、各々の活動を通じて顔見知りの関係を構築し、身近な相談相手となる関係づくりに努めます。	地区部会が町内自治会や民児協、あんしんケアセンター、行政と連携し、活動を通じて地域住民と顔見知りの関係を築き、身近な相談相手となる関係づくりに努めた。	A		
	⑪ いざというときに必要な情報把握や防災講座等の開催	6	町内自治会自主防災組織が千葉市と連携協力し、地域住民に対して、災害時に備えて防災訓練や避難訓練を実施するなど、平常時からの防災への意識の向上に努めます。	8町内自治会(第3期より4自治会増)が千葉市や消防と連携協力し、地域住民を対象とした防災訓練を実施するとともに、避難所運営委員会が稲丘小学校で避難所開設訓練を実施するなど、住民一人ひとりの防災意識の向上に取り組みました。	S		
	⑫ 地域住民を地域で守る取り組み	6	町内自治会等が警察と連携し、地域住民の防犯意識を高めるために防犯パトロールを行うなど、住民同士の防犯活動に取り組みます。	町内自治会が地域内の小・中学校(稲丘小、稲毛小、小中台南小、稲毛中)のPTA、青少年育成委員会と連携し、危険個所のチェックを行い、毎年更新するエリア内のマップを作成するとともに、地域住民へ情報提供を行いました。	A		

稲毛区支え合いのまち推進計画の 推進状況(平成30年度～令和2年度)

【取組みテーマ】1見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
10 相談支援体制と情報提供の充実

【達成状況の目安】

S:目標を上回った。
A:概ね目標を達成した。(8～10割)
B:一部目標を達成した。(5～7割)
C:大きく目標を下回った。(～4割)

地区部会エリア	重点取組項目	取組みテーマ	第4期(平成30年度～令和2年度)の目標	第4期(平成30年度～令和2年度)の実績	達成状況	第4期の総括・今後の課題	令和3年度の取組の方向性
千草台中学校地区部会エリア 【人口・世帯数】 72,042人、32,972世帯 【町内自治会数】 9町内自治会 【高齢化率】 25.1% 【地域の特徴】 2,100世帯から成る千草台団地を中心に、戸建て、マンション等がある全9自治会で構成されている。エリア内には千葉県総合スポーツセンター、千葉都市モノレールも走り、また京葉道路と国道で分断されているのも特徴的である。最近では萩台町の旧水田地帯に新築戸建の開発が進んでいる。前記の千草台団地の高齢化率は区内3位の40.4%である。	② 地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	9	地区部会が町内自治会、スポーツ振興会などが連携・協力し、イベント(夏祭りや敬老会、地区運動会、文化祭など)を企画実施し、幅広い世代層が交流できる場づくりに取り組みます。	町内自治会が夏祭りや敬老会、どんど焼き、昔遊び会(2月)など実施する他、スポーツ振興会が夏休みのラジオ体操や地区運動会を継続実施するなど、町内自治会などの広報紙や口コミを通じて、幅広い世代の参加・交流の場づくりに取り組みました。	A	各重点取組項目ごとに活動の継続と拡充を行い、計画に沿って推進していたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い途中で活動を大幅縮小せざるを得ず、特に高齢者の健康面や日常生活(買い物支援など)で不安を訴える声が聞かれた。また、活動を継続してゆくための人材発掘や育成が思うように進んでいないことが問題点として挙げられる。	新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、感染予防を第一にしたうえで活動を再開・拡大してゆく。特に昨年度に関わりを持つことが困難だった高齢者の健康面に留意して取り組む。
	③ 地域で活動している人・組織同士の連携・協力	9 10	地区部会や町内自治会、民児協、スポーツ振興会などが、イベントなどを実施する際、相互に連携・協力し、地域活動に取り組めます。	地区部会や町内自治会、民児協、スポーツ振興会などが夏祭りや敬老会、地区運動会などを相互に連携・協力して開催し、地域活動を継続的に取り組みました。また、地域内5団体(地区部会、コミュニティづくり懇談会、スポーツ振興会、青少年育成委員会、自治会連協)が実行委員会形式で文化祭や昔遊びを継続実施し、幅広い世代の参加・交流の場づくりに取り組みました。	A		
	⑧ 健康づくりや介護予防の普及・啓発	5	地区部会が町内自治会やあんしんケアセンター、区健康課等と連携・協力し、高齢者等に対していきいきサロン(3か所 年36回)や子育て世帯に対してちびっこ保育などを実施し、健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組めます。	地区部会が区健康課やあんしんケアセンター、シニアリーダー、スポーツ振興会等と連携・協力し、高齢者に対していきいきサロン(4か所※第3期より2会場増)やシニアリーダー体操(1か所)、グラウンドゴルフ大会、認知症声かけ訓練を実施するなど、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組めました。	S		
	⑪ いざというときに必要な情報把握や防災講座等の開催	6	町内自治会が地域住民に対して避難訓練等の実施や、千葉市と避難行動要支援者名簿の締結を行うなど、平常時から災害時に備えた支援体制づくりに努めます。	4町内自治会(自主防災組織)で独自に防災訓練や避難訓練を行いました他、千葉市と避難行動要支援者名簿の締結を継続して行いました(第3期より1自治会増)また、避難所運営委員会を新たに立上げ、災害時の支援体制づくりに取り組みました。	A		

稲毛区支え合いのまち推進計画の 推進状況(平成30年度～令和2年度)

【取組みテーマ】1見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
10 相談支援体制と情報提供の充実

【達成状況の目安】

S:目標を上回った。
A:概ね目標を達成した。(8～10割)
B:一部目標を達成した。(5～7割)
C:大きく目標を下回った。(～4割)

地区部会エリア	重点取組項目	取組みテーマ	第4期(平成30年度～令和2年度)の目標	第4期(平成30年度～令和2年度)の実績	達成状況	第4期の総括・今後の課題	令和3年度の取組の方向性
草野地区部会エリア	② 地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	9	町内自治会やスポーツ振興会、青少年育成委員会などが連携協力し、イベント(夏祭りやラジオ体操、敬老会、地区運動会など)を企画実施するなど、幅広い世代が交流できる場づくり取り組みます。	町内自治会がスポーツ振興会や青少年育成委員会、子ども会と連携・協力し、夏祭りや夕涼み会、ラジオ体操、敬老会、防災訓練などを継続して企画実施し、幅広い世代が参加交流できる場づくりに取り組みました。	A	各重点取組項目ごとに活動の継続と拡充を行い、計画に沿って推進していたが、コロナウイルス感染症拡大に伴い途中で活動を大幅縮小せざるを得ず、特に高齢者の健康面で不安を訴える声が聞かれた。また、高齢化率が高い集合住宅での日常の支援(ゴミ出しなど)の課題となっている。	コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、感染予防を第一にしたうえで活動を再開・拡大してゆく。(いきいきサロンを令和3年度中に2会場増設予定)特に昨年度に関わりを持つことが困難だった高齢者の健康面に留意して取り組む。
【人口・世帯数】 20,821人、9917世帯 【町内自治会数】 21町内自治会 【高齢化率】 31.0%			④ 地域住民の参加による見守り・支え合い	1 7	地区部会や町内自治会、民児協、URなどが連携・協力し、一人暮らし高齢者等に対し、「安心登録カード」や「緊急医療情報キット」などによる住民同士の見守り活動に取り組みます。		
【地域の特徴】 京葉道路の一部、穴川インターチェンジの一部をエリアに含み、概ねエリアの中央を走る国道16号線を境に東西へまたがっている昔は山だらけだったという地域には古くからの戸建て、アパート群の中に新設のマンションが建設され、新旧住民が混在している。エリア内で一番世帯数の多いあやめ台団地は、昭和41年に入居開始から48年が経過、約半世紀を経た今、稲毛区内で5番目の高齢化率(37.2%)、住民の3人に1人は高齢者となっている。高齢者(高齢化・孤立死等)と子育て(低所得・家庭崩壊等)の2つが顕著な問題である。	⑦ 公共施設や空き店舗などを活用した身近な居場所づくり	2 3 4 9	地区部会が町内自治会や民児協等と連携・協力し、町内自治会館や集会所などにおいて、いきいきサロンや子育てサロン、地域カフェを実施するなど、住民同士が集える居場所づくりに取り組みます。	地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力し、高齢者等に対していきいきサロン(12会場※第3期より1会場増)や若い世代に対して子育てサロン(2会場)を継続して実施するとともに、幅広い世代が気軽に集える地域カフェを開設するなど、身近な居場所づくりに取り組みました。	S		
	⑧ 健康づくりや介護予防の普及・啓発	5	地区部会があんしんケアセンターや区健康課と連携・協力し、いきいきサロンや子育てサロン、散歩クラブなどを実施し、健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みます。	地区部会が町内自治会や民児協、区健康課やあんしんケアセンターなどと連携・協力し、高齢者等に対していきいきサロン、散歩クラブや、若い世代に対して子育てサロンを継続して実施するとともに、健康講座や車いす講座、認知症サポーター養成講座などを実施して健康づくりや介護予防の啓発に取り組みました。	A		
	⑪ いざというときに必要な情報把握や防災講座等の開催	6	地区部会や町内自治会、民児協などが千葉市と連携協力し、地域住民に対して災害時に備えて防災訓練や防災講座などを実施するなど、防災意識の向上に努めます。	町内自治会(自主防災)が地域住民に対して防災訓練や避難訓練を実施するなど、住民一人ひとりの災害時に備えた危機意識の向上に取り組みました。また、避難所運営委員会が区地域振興課と協力して、宿泊を兼ねた防災訓練を行うなど、防災意識の向上に取り組みましたほか、地域福祉活動推進委員会による防災アンケートを基にした交流会を行い、地域内防災意識の向上に努めた。	A		

稲毛区支え合いのまち推進計画の 推進状況(平成30年度～令和2年度)

【取組みテーマ】1見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
10 相談支援体制と情報提供の充実

【達成状況の目安】

S:目標を上回った。
A:概ね目標を達成した。(8～10割)
B:一部目標を達成した。(5～7割)
C:大きく目標を下回った。(～4割)

地区部会エリア	重点取組項目	取組みテーマ	第4期(平成30年度～令和2年度)の目標	第4期(平成30年度～令和2年度)の実績	達成状況	第4期の総括・今後の課題	令和3年度の取組の方向性
緑が丘地区部会エリア	① あいさつから始まる地域との関わり	9	地区部会が学校やセーフティウォッチャー、町内自治会などと連携協力し、学校周辺及び通学路においてあいさつ運動を実施するとともに、防犯パトロールによる声かけを行うなど、地域内のあいさつ運動の浸透に努めます。	町内自治会や老人会が地域の防犯パトロールや、セーフティウォッチャーによる、宮野木小の登下校時の声掛けを行うなど、地域内のあいさつ運動に取り組みました。	A	各重点取組項目ごとに活動の継続と拡充を行い、計画に沿って推進していたが、コロナウイルス感染症拡大に伴い途中で活動を大幅縮小せざるを得ず、特に高齢者の健康面で不安を訴える声が聞かれた。また、活動を継続してゆくための人材発掘や育成が思うように進んでいないことが問題点として挙げられる。	コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、感染予防を第一にしたうえで活動を再開・拡大してゆく。特に昨年度に関わりを持つことが困難だった高齢者の健康面に留意して取り組む。
【人口・世帯数】 12,210人、4,452世帯			地区部会や町内自治会、民児協、青少年育成委員会、スポーツ振興会等がイベント(緑ンピックなど)や交流会(民児協と子どもルーム交流など)の実施の際に相互に連携・協力し、地域活動に取り組みます。また、地区部会と地区連協とが協働で地域住民対象の講演会を企画実施します。	地区部会をはじめ町内自治会や民児協、青少年育成委員会、スポーツ振興会が、緑ンピック等のイベントや、民児協と子どもルームが行う交流会、防犯活動において、相互に連携・協力して地域活動に取り組みました。また、福祉活動推進員退任者の後任を委嘱したほか、推進員を増員するなどして、これからの地域福祉を担う人材の確保と育成に努めた。	A		
【町内自治会数】 21町内自治会			「お互い地域で支え合うことで孤独死を防ごう」をテーマとした講演会を開催し、地域での見守り・支え合い活動の啓発に取り組みます。また、地区部会が町内自治会や民児協等と連携・協力して、高齢者等に対して日常的な声かけなどによる見守り活動やゴミ出し等、住民同士の支え合い活動に取り組みます。	地区部会が民児協、町内自治会と連携・協力し、地域の高齢者に対して、見守りや支え合いに関する講座地区連協共催)を開催し、意見交換や情報共有に取り組みました。また、一部の町内自治会において、単身・高齢者世帯に対しゴミ出し支援を行うなど、住民同士の支え合い活動に取り組みました。	A		
【高齢化率】 31.7%	③ 地域で活動している人・組織同士の連携・協力	9 10	柏台、長沼町の一部、宮野木町の一部、園生町の一部、あやめ台の一部をエリアとしている。あやめ台団地内の一街区、二街区はあやめ台小学区、三街区は柏台小学校区と、団地内で学区が分かれている。町がつく場所には古くからの住民と、最近立ち始めた戸建て等に転入してくる新しい方が融合している。	④ 地域住民の参加による見守り・支え合い	1 7		

稲毛区支え合いのまち推進計画の 推進状況(平成30年度～令和2年度)

【取組みテーマ】1見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
10 相談支援体制と情報提供の充実

【達成状況の目安】

S:目標を上回った。
A:概ね目標を達成した。(8～10割)
B:一部目標を達成した。(5～7割)
C:大きく目標を下回った。(～4割)

地区部会エリア	重点取組項目	取組みテーマ	第4期(平成30年度～令和2年度)の目標	第4期(平成30年度～令和2年度)の実績	達成状況	第4期の総括・今後の課題	令和3年度の取組の方向性
301(作草部・天台)地区部会エリア	② 地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	9	地区部会や町内自治会、スポーツ振興会などが連携・協力して、「社協まつり(敬老会)」や「地区運動会」、「都賀の子まつり」、「夏休みラジオ体操大納会」等を実施し、住民同士が交流できる場づくりに取り組みます。	地区部会が町内自治会・スポーツ振興会や学校、施設と連携・協力し、「社協まつり」、「都賀の子まつり」「地区運動会」「地域交流バザー」など各種団体のイベントを介し、幅広い世代が参加・協力し、活躍できる交流の場づくりに継続して取り組む他、4団体(町内自治会・スポーツ振興会・PTA・地区部会)共催で「夏休みラジオ体操大納会」を開催したほか、小学校と共同で高齢者へのクリスマスカード配布を行いましたほか、いきいきサロン増設(第3期より1会場増の12会場)を進めるなど、住民同士が交流できる場づくりに取り組みました。	A	各重点取組項目ごとに活動の継続と拡充を行い、計画に沿って推進していたが、コロナウイルス感染症拡大に伴い途中で活動を大幅縮小せざるを得ず、そのような中での従事者の安全対策への意識に差異が見られることが問題点と感じられる。また、地域内で活動継続している支え合い活動維持のための従事者確保(育成)も課題として挙げられる。	コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、感染予防を第一にしたうえで活動を再開・拡大してゆく。特に昨年度に関わりを持つことが困難だった高齢者の健康面に留意して取り組む。
【人口・世帯数】 8,243人、3,887世帯							
【町内自治会数】 15町内自治会							
【高齢化率】 23.3%							
【地域の特徴】 中央区、若葉区との境に接しているため、地域内にある都賀小学校へは稲毛区、中央区から、千草台東小学校へは若葉区、中央区、稲毛区の児童が通学している。また、都賀中へは稲毛区、若葉区、中央区の生徒が通学している。自治会が結成されていない主なマンションは5カ所、350世帯ある。	④ 地域住民の参加による見守り・支え合い	1 7	地区部会が町内自治会・民児協と連携・協力して「支え合いの会」を運営し、高齢者等に対してゴミ出しや買物のお手伝いなど、身近な住民同士の支え合い活動に取り組みます。	地区部会が町内自治会・民児協と連携・協力して行う、「301地区支え合いの会」において、高齢者等を対象にゴミ出しや買物の手伝いの他、多様なニーズに対応するなど、住民同士の支え合い活動に取り組みました(2月に全体の報告会を開催)。また、継続して2町内自治会において、「無事です」ステッカーを活用した安否確認や、行事の参加者へ声かけによる見守り活動に取り組みました。	A		
	⑨ 地域の情報の収集と発信	10	地区部会や町内自治会、民児協、各種活動団体・関係機関が相互に会議等に参加し、情報共有するとともに、広報紙などを通じて地域住民に地域の活動等の情報発信に取り組みます。	地区部会や町内自治会、民児協、各種活動団体・関係機関が相互に会議等に参加し、情報共有を行うとともに、広報紙などを通じて地域住民に地域活動等の情報発信に取り組みました。	A		
	⑪ いざというときに必要な情報把握や防災講座等の開催	6	地区部会や町内自治会自主防災会などが連携協力し、避難所開設訓練や防災講座等を実施するなど、地域住民に対して災害時に備えた防災に関する意識の向上に取り組みます。	地区部会や町内自治会自主防災会などが連携・協力し、防災連絡会や避難所運営委員会が主導の避難所開設訓練を実施するなど、地域住民に対し防災に関する意識の向上に取り組みました他、6自治会において防災訓練を行いました。	A		

稲毛区支え合いのまち推進計画の 推進状況(平成30年度～令和2年度)

【取組みテーマ】1見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
10 相談支援体制と情報提供の充実

【達成状況の目安】

S:目標を上回った。
A:概ね目標を達成した。(8～10割)
B:一部目標を達成した。(5～7割)
C:大きく目標を下回った。(～4割)

地区部会エリア	重点取組項目	取組みテーマ	第4期(平成30年度～令和2年度)の目標	第4期(平成30年度～令和2年度)の実績	達成状況	第4期の総括・今後の課題	令和3年度の取組の方向性
緑・黒砂地区部会エリア 【人口・世帯数】 8,846人、4,593世帯 【町内自治会数】 7町内自治会 【高齢化率】 22.6% 【地域の特徴】 JR線を境に、南に走る国道357号線までの緑町、黒砂、黒砂台1丁目～2丁目をエリアとし、中心を京成線が東西に走っている。文教施設があり、または隣接していることもあり、日中の学生数、またエリアにも学生が点在し居住しているのも特徴である。	① あいさつから始まる地域との関わり	9	学校(セーフティウォッチャー)と各種関係団体が連携し、一定期間に通学路や学校周辺、地域内であいさつ運動を行い、子どもから大人までが顔なじみになるよう関係づくりに取り組みます。	町内自治会や学校(PTA)が連携し、一定期間に、通学路や学校周辺であいさつ運動を行うとともに、見守り隊によるあいさつ(声掛け)や、月1回、学校からのお知らせを自治会回覧で配布するなど、子どもから大人までが顔なじみになるよう、あいさつ運動への協力に取り組みました。	A	各重点取組項目ごとに活動の継続と拡充を行い、計画に沿って推進していたが、コロナウイルス感染症拡大に伴い途中で活動を大幅縮小せざるを得ず、特に高齢者の健康面で不安を訴える声が聞かれた。また、声かけ見守り活動の維持や、活動従事者の発掘や育成も課題となっている。	コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、感染予防を第一にしたうえで活動を再開・拡大してゆく。特に昨年度に関わりを持つことが困難だった高齢者の健康面に留意して取り組む。
	② 地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	9	地区部会が主体となり幅広い世代が参加できる「社協まつり」を実施する他、町内自治会、民児協が連携・協力し、「納涼祭」「敬老会」等を実施するなど、住民同士が交流できる場づくりに取り組みます。	町内自治会や青少年育成委員会、民児協が連携・協力し、地域全体で納涼祭(8月)や敬老会(9月)、社協まつり(11月)を実施するほか、保育所と老人会の交流会(4月・7月)や小学生との交流会を行うなど、住民同士が交流できる場づくりに取り組みました。また、地域内施設と連携協力していきいきサロンを1会場増設し3会場で活動を行いました。	A		
	⑧ 健康づくりや介護予防の普及・啓発	5	地区部会が区健康課やあんしんケアセンター、地域内の施設等と連携・協力し、高齢者に対していきいきサロンや、ふれあい食事サービスを実施し、健康づくりや介護予防の普及啓発に取り組みます。	地区部会がポッチャ同好会と連携し、高齢者向けにいきいきサロンを開催した他、ふれあい食事サービスや地区部会主催の健康講座(まちかどお薬講演会)などにより健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組みました。	A		
	⑫ 地域住民を地域で守る取り組み	6	町内自治会、民児協、各種活動団体と連携・協力して防犯活動協力者を確保し、自転車に防犯ステッカーを掲示するなど、地域内の防犯活動に取り組みます。	民生委員活動を通じて、高齢者等に対し声かけによる安否確認や、一部の町内自治会が、週2回の防犯パトロール等、見守り活動に継続して取り組むとともに、「防犯ステッカー」を防犯活動協力者の自転車に掲示するなどして、地域内の防犯活動に取り組みました。	A		

稲毛区支え合いのまち推進計画の 推進状況(平成30年度～令和2年度)

【取組みテーマ】1見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
10 相談支援体制と情報提供の充実

【達成状況の目安】

S:目標を上回った。
A:概ね目標を達成した。(8～10割)
B:一部目標を達成した。(5～7割)
C:大きく目標を下回った。(～4割)

地区部会エリア	重点取組項目	取組みテーマ	第4期(平成30年度～令和2年度)の目標	第4期(平成30年度～令和2年度)の実績	達成状況	第4期の総括・今後の課題	令和3年度の取組の方向性
小中台西地区部会エリア	<p>① あいさつから始まる地域との関わり</p> <p>② 地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流</p> <p>④ 地域住民の参加による見守り・支え合い</p>	<p>9</p> <p>9</p> <p>1 7</p>	<p>地区部会が町内自治会・学校・青少年育成委員会と連携・協働し、あいさつをテーマにした標語の作品募集を行い、「東西社協まつり(10月)」や広報紙などで作品の広報啓発に取り組みます。</p> <p>また、地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力して、町内に掲出するステッカー等により、地域住民に「あいさつ・声かけ運動」の浸透に取り組みます。</p>	<p>地区部会が近隣校(小中台小・小中台南小・園生小・柏台小)の協力を得る中、あいさつをテーマにした標語作品を募集し、「東西社協まつり(小中台公民館)」で優秀作品を発表並びに表彰を行うとともに、あいさつ運動のステッカーを改訂・増刷して町内自治会の掲示版などに掲示を行うなど、あいさつ運動の浸透に取り組みました。</p> <p>また、セーフティウォッチャー(小中台小、小中台南小、園生小)が青少年育成委員や民生委員と連携・協力して登下校時のあいさつ運動や、町内自治会が防犯パトロールを兼ねてあいさつ・声かけ運動に取り組みました。</p>	A	<p>各重点取組項目ごとに活動の継続と拡充を行い、計画に沿って推進していたが、コロナウイルス感染症拡大に伴い途中で活動を大幅縮小せざるを得ず、特に高齢者の健康面で不安を訴える声が聞かれた。</p> <p>また、活動を継続してゆくための人材発掘や育成が課題として挙げられる。</p>	<p>コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、感染予防を第一にしたうえで活動を再開・拡大してゆく。特に昨年度に関りを持つことが困難だった高齢者の健康面に留意して取り組む。</p> <p>また、活動従事者同士の会合などをオンライン化する試みも検討してゆく。</p>
<p>【人口・世帯数】</p> <p>21,299人、12,127世帯</p>			<p>地区部会が町内自治会や民児協、各種活動団体と連携・協力して「東西社協まつり(10月)」などイベントを企画実施する他、自治会単位で開催する祭やイベントなどを通じて住民同士が交流できる場づくりに取り組みます。</p>	<p>地区部会が町内自治会や民児協、商工会、学校などと連携・協力し、幅広い世代が参加交流できるよう企画内容を創意工夫して、「東西社協まつり(小中台公民館)」を継続的に実施し、世代間の交流に取り組みました。</p>	A		
<p>【町内自治会数】</p> <p>18町内自治会</p> <p>【高齢化率】</p> <p>22.7%</p>			<p>地区部会が町内自治会や民児協と連携し、一人暮らし高齢者等に対して日常的な声かけなどの安否確認等による見守り活動に取り組みます。</p>	<p>7町内自治会が一人暮らし高齢者に対して訪問による声かけや防犯パトロール等により安否確認の見守りを継続的に取り組みました他、地区部会が町内自治会や民児協と連携・協力し、いきいきサロン(12会場※第3期より1会場増)の活動を介して高齢者等の見守りに取り組みました。</p> <p>また、一部の自治会で平常時のほか、被災時など緊急時の見守りとの2パターンを想定した見守り活動に取り組みました。</p>	A		
<p>【地域の特徴】</p> <p>小中台1丁目から9丁目までがエリアであり、昔からの旧戸建て住宅の旧住民と、新設の大型マンションに転入して暮らす新住民とが混在しているのが特徴である。</p>							

稲毛区支え合いのまち推進計画の 推進状況(平成30年度～令和2年度)

【取組みテーマ】1見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
10 相談支援体制と情報提供の充実

【達成状況の目安】

S:目標を上回った。
A:概ね目標を達成した。(8～10割)
B:一部目標を達成した。(5～7割)
C:大きく目標を下回った。(～4割)

地区部会エリア	重点取組項目	取組みテーマ	第4期(平成30年度～令和2年度)の目標	第4期(平成30年度～令和2年度)の実績	達成状況	第4期の総括・今後の課題	令和3年度の取組の方向性
弥生地区部会エリア 【人口・世帯数】 1,047人、591世帯 【町内自治会数】 3町内自治会 【高齢化率】 24.5% 【地域の特徴】 稲毛区弥生町及び黒砂台3丁目の一部が対象地域。稲毛区の南部に位置し、JR西千葉駅、京成線みどり台駅から徒歩圏内の住宅地となっており、千葉大学に隣接していることも特徴の一つである。弥生町自治会、弥生県営住宅弥生会の2町内自治会で構成され、総世帯数は約590世帯、他の地区部会と比較すると、非常に小さな規模の地区である。 ※令和2年度をもって活動終了	② 地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	9	地区部会が幅広い世代が参加して楽しめるイベント(「ハロウィン祭り」や「ハーティちゃんの日」など)を企画実施するなど、住民同士が交流できる場づくりに取り組めます。	地区部会が子育て世代向けに「ハロウィンパーティ」「ハーティちゃんの日」や高齢者対象の「くるま座Q&A」など企画実施するとともに、町内自治会の回覧や掲示板を通じて、幅広い世代の参加を促して交流の場づくりに取り組みました。	A	各重点取組項目ごとに活動の継続と拡充を行い、計画に沿って推進していたが、コロナウイルス感染症拡大に伴い途中で活動を大幅縮小せざるを得ず、特に高齢者の健康面で不安を訴える声が聞かれた。また、活動を継続してゆくための人材発掘や育成が思うように進んでいないことが問題点として挙げられる。	コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、感染予防を第一にしたうえで活動を再開・拡大してゆく。あんしんケアセンターとの連携で高齢者向け健康維持の教室や、地域子育て世代が中心となつての児童関係イベントの運営などを企画してゆく。
⑧ 健康づくりや介護予防の普及・啓発	5	地区部会があんしんケアセンターや区健康課と連携して、高齢者に対して、いきいきサロンや講座を開催し、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組めます。	地区部会が、あんしんケアセンターや行政と連携し、高齢者に対して出前講座や「くるま座Q&A」を1回開催し、健康に関する相談や情報提供を行うとともに、いきいきサロンを7回実施し、健康増進に取り組めました。	B			
⑨ 地域の情報の収集と発信	10	地区部会が町内自治会や民児協、学校などと連携して、地域の情報収集に取り組む、広報紙や自治会回覧、学校の通知などを通じて地域住民に地域活動の情報発信に取り組めます。	地区部会が、県社協の地域福祉フォーラム事業の一環として弥生小学校、保護者会などと協力して、作成した「地域安全マップ」を新入学児童の世帯に配布したほか、地域との交流事業としての植栽イベントを計画・発信するなど、地域活動の情報発信に取り組めました。	S			